

大阪府支援教育研究会総会報告

平成 21 年 5 月 14 日 大阪府支援教育研究会総会が行なわれました。飯田副会長のあいさつから始まり、次に来賓の大阪府教育委員会支援教育課長の村上慶太郎様より祝辞をいただきました。議長として池田市立呉服小学校の福本校長が選出され、その後、議事が平成 20 年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告と滞り無く進みました。今回の規約改正は、第 3 条（事業）の 2、従来は関係団体との連絡提携とある部分が、大阪府教育委員会および関係団体との連携となったことです。本会と大阪府教育委員会は以前より協力連携の立場ではありましたが、今回、それが明文化されたわけです。（大阪府教育委員会の支援教育地域推進事業実施要項の中でも、事業の実施の項目の中で、府立支援学校及び市町村が、各地域ブロック及び広域ブロックにおいて、必要に応じ、大阪府支援教育研究会と連携し、研究・研修を実施する旨が記されております。）その後、平成 21 年度役員選出、役員選出経過報告、新役員就任あいさつと議事は続きました。平成 21 年度新会長は阪南市立波太小学校の草竹幸一校長先生です。さらに平成 21 年度事業計画（案）、予算（案）と議事は続きました。全ての議事終了後は、大阪府作業療法士会事業部発達部門代表の辻薫様より、「学校で生かす作業療法の視点～子どもの達成感につながる教材教具の工夫～」のテーマで講演をいただきました。氏は自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害、ADHD の発達障害のある人の福祉の増進に寄与するお立場から、JDD ネットワークに加わり、協力活動しておられます。そして、通級指導教室または支援学級での特別支援教育に関する教材・教具の工夫として、サポートツールの作成とサポートツールを使った実証研究をしてこられました。今回は、その実際について、わかりやすく説明いただきました。ありがとうございました。

